

中小企業でのSDGs取り組み事例20

2022/6/7

	企業名	業種・大分類	業種・中分類	経緯（ゴールと自社の活動の関係）	取り組み内容	結果	設定ゴール
1	株式会社A	製造業	印刷・同関連業	インターネット印刷などの台頭により価格競争が激化し、企業として稼ぐ力をつける必要性を感じ本業を通じてSDGsに取り組み、ビジネス機会を得ようと考えた。	環境や人の体に優しい環境印刷への対応。SDGsを意識した新製品開発。日本在留外国人のニーズに応えた外国語への対応。	SDGsに取り組む大手企業などとの新規取引の増加、売上増加。職場環境改善、社員のモチベーションアップ。外部ステークホルダーとの連携強化。	4. 質の高い教育をみんなに
							12. つくる責任 つかう責任
							15. 陸の豊かさも守ろう
2	B株式会社	製造業	業務用機械器具製造業	製造メーカーとして、認定NPO法人主催の「環境力大賞」を受賞したことがきっかけ。以前から太陽光発電などの温暖化対策などの取り組みを行っていた。	情報機器でデータを確認できる生産管理システムの導入を実施。性能に問題ないため、過剰な品質管理をやめ、コストダウンを実現し価格を下げた。	過剰な品質管理を廃止したことによる検査労力の軽減、低コスト化。「不良品」の廃棄を減らすことで環境への負荷が低減 途上国との熾烈な価格競争に負けない低価格を実現。	8. 働きがいも経済成長も
							12. つくる責任 つかう責任
3	株式会社C	製造業	食料品製造業	食品製造で出る大量の卵殻を産業廃棄物として処理していたが、持続可能な資源へ転換できないか考えた。	卵殻を使用したバイオマスプラスチックの製造・販売。指定障害福祉センターと製品の成形で協業、施設利用者への一般就労支援の実施。	SDGsに積極的に取り組む企業からの製品採用が大幅に増加。産業廃棄にかかっていたコストを植林に使いCO2を削減。	12. つくる責任 つかう責任
4	D株式会社	製造業	繊維工業	生地の原材料である綿花が、先進国に有利で、開発途上国にとって不平等な取引が行われている実態を知り、フェアトレードに賛同して取り組みをはじめた。	製品まで一貫生産できる自社の強みを生かし、日本製フェアトレード製品の生産。職場体験やインターンシップ、地域や若年層に対する啓発活動の実施など。	付加価値の高い製品による企業認知度の向上、SDGs活動を通じた内部組織力強化。持続可能な調達に関心の高い企業などとの新規取引の増加、新たな協働機会の獲得など。	8. 働きがいも経済成長も
							10. 人や国の不平等をなくそう
5	株式会社E	製造業	その他の製造業	発展途上国での教育支援、職業スキル研修を行う傍ら、深刻な貧困問題を解決できる事業を探していたところ、廃棄されている植物繊維から紙が作れることを知る。	現地工場で現地人を雇用し、オーガニック植物を買い取り、繊維を絞り乾かす繊維を日本に送り、和紙の技術を活用し、フェアトレード認証の紙の生産。	現地シングルマザーなどの社会的弱者の雇用、現地の子どもの教育支援、ソーラーランプの普及、マラリア予防のための教育と蚊帳の設置、安全な水の提供などによる、暮らしを支えることに貢献。	8. 働きがいも経済成長も
							10. 人や国の不平等をなくそう
6	株式会社F	製造業	その他の製造業	紙やプラスチックの代替となる新素材開発し、企業ビジョンとして持続可能な循環型イノベーションを掲げている。	国内自給率100%超である石灰石を主原料とした製品の製造。サステナビリティ推進者の配置。製品の回収、加工・販売などによるSDGs達成を通じた地方創生。	環境負荷の低減と付加価値の高い持続可能な生産の実現。新規取引の増加、売上増加。リクルーティングや社員のモチベーション向上など。	12. つくる責任 つかう責任

	企業名	業種・大分類	業種・中分類	経緯（ゴールと自社の活動の関係）	取り組み内容	結果	設定ゴール
7	G株式会社	製造業	木材・木製品製造業	近年、安価な輸入材に押され、出荷量・生産量が減少していたが、輸入材との差別化をし、地元の木材を利用することで持続可能な森林経営と地域経済の活性化という社会課題を解決するためSDGsに取り組みはじめた。	販路拡大と認知度の向上のため、カタログなどを製作しブランド化。ブランドステッカーを作製し、製品に張って出荷した。	ブランド認知が進み、販売パートナーの登録。ステッカーにより工務店は生産地や材種が一目でわかるため、施主に説明しやすく好評など。	7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに
							12. つくる責任 つかう責任
8	H株式会社	製造業	プラスチック製品製造業	OEMが主な事業だったが、自社事業へ領域を広げることを計画していた。社内の前向きな理解や自社の事業領域拡大につながる新たな技術獲得に向けて、SDGsを切り口にした補助金を活用。	県補助金を活用し、生分解性プラスチックを使った製品の開発。「教育訓練基準」の制定と積極的な人材育成による社員のモチベーションの向上。障がい者の積極的な雇用。品質マネジメントシステムと環境マネジメントシステムの経営への融合、それらをベースにした不良品削減活動、廃棄物のリサイクル化、省エネの推進。自社の温室効果ガスの排出量の把握と抑制。	生分解性プラスチックを使った製品開発ノウハウの蓄積、新たな製品展開の構築。不良品削減活動、廃棄物のリサイクル化、省エネの推進。	7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに
							12. つくる責任 つかう責任
9	株式会社I	卸売業・小売業	パルプ・紙・紙加工品製造業	新聞用紙などの印刷用紙の生産量の減少と、世界規模の脱プラスチックの動きによりビニール袋から紙袋への変更が広まりつつあり、環境変化をとらえ、紙製品の普及を考えた。	オーダー手付け袋制作事業の立ち上げた。	新規販路の開拓。SDGsの提唱に即した事業として、メディアに取り上げられる。認知度の向上。	12. つくる責任 つかう責任
							14. 海の豊かさを守ろう
							15. 陸の豊かさを守ろう
10	有限会社J	建設業	設備工事業	自然環境の悪化、人口減少、地方衰退の問題などに対して、社会の持続可能性に危機感を感じた。	再生可能エネルギーである太陽光発電事業への取り組み。農地に太陽光発電設備を設置し、発電事業と営農を両立するソーラーシェアリング事業を起し、あらゆる人が平等に、また子育てや介護などそれぞれの事情に合わせた働き方や、やりがいを感じられる職場環境の実現。	社員のモチベーション向上。充実した働き方の創出。	7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに
							9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
							12. つくる責任 つかう責任
							13. 気候変動に具体的な対策を
11	K株式会社	製造業	その他製造業	SDGsのPR活動の一端を担うバッジを作製してほしいという依頼がきっかけ。	持続可能な再生素材を使用したバッジ作製。持続可能な再利用の綿布を使用した刺繍エンブレムの作製。再生紙を使用したステッカー、ペットボトル再生利用ポリエステルを使用したワッペン作製。	提携工場のあるパキスタン、中国での持続可能な労働者の確保と、労働者の賃金向上による子どもたちへの教育環境の整備。	4. 質の高い教育をみんなに
							8. 働きがいも経済成長も
							10. 人や国の不平等をなくそう
12	L社	製造業	食料品製造業	近年、食品ロス、農林水産物などの在庫の大幅な増加、価格の低下が問題になって折、消費者の意識が変化しつつあることからSDGsを学び、達成に向けて取り組むことが大切だと実感し、事業の立ち上げを決意した。	地元の農家が育てた野菜の加工、新たな商品として販売。リモート勤務による働き方改革。無添加商品の提供。	無添加のドレッシング、ソース、ジャムなど、商品としての新たな価値の創出。個人が独自で働くことができる環境の構築。	12. つくる責任 つかう責任

	企業名	業種・大分類	業種・中分類	経緯（ゴールと自社の活動の関係）	取り組み内容	結果	設定ゴール
13	株式会社M	造園業	職別工事業	お客やその家族に対し、植物の手入れを無理なく続けられる庭づくりを提案した際、植物の命をつないでいくことは社会のためになると気づいたことがきっかけである。	さまざまな事情で伐採しなければならなくなった植物を引き取り、植育事業を行う。やむを得ず伐採した樹木の再資源化に取り組むため、新たな再資源先を探す施設の設定。	採用の問い合わせ、SDGs経営に積極的な企業からの引き合いの増加。	4. 質の高い教育をみんなに
							11. 住み続けられるまちづくりを
							15. 陸の豊かさも守ろう
14	株式会社N	建設業	総合工事業	地域でのごみ置き場の設置、ごみ拾いか地域の人と仲よくなり仕事が生まれた。ボランティア活動にも携わるようになりSDGsを意識した。	地域住民が集う施設の運営。介護施設などの屋根を借りた太陽光発電システムの設置。再生エネルギーによるクリーンで災害に強く、より安心して安全なエネルギーの普及。障がい者・シニア層への新たな活躍の場の提供。	地域の人々とつながりを重視した経営。再生エネルギーの普及。災害に強いまちづくり。すべての人々が生きがいを持って働ける場の創出。	7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに
							8. 働きがいも経済成長も
15	株式会社O	建設業	総合工事業	空き家となった古民家が社会問題となり壊されていることを知り、地元の建築企業として、この問題解決に貢献したいと考えた。	古民家から入手できる古木を生かした店舗のデザインや施工。古木を使った家具の製作・販売。廃材となる可能性のあった木材の再利用による廃棄物削減と脱炭素化。空き家の移築やリノベーションによる再活用と地域資源の活用。古木を生かしたパートナーシップの構築。	古木を使った設計施工受注の増加。古木ブランドの確立。職人の若返りなど。	12. つくる責任 つかう責任
16	P株式会社	サービス業	その他サービス業	SDGsの採択とパリ協定の締結がきっかけとなり使い捨てプラボトルを廃止やマイボトルを使用すれば環境面に優しいことに気づいた。	使い捨てプラボトルをマイボトル（水筒）で代替することを呼び掛けプロジェクト推進。地方自治体との連携協定を結び、誰もが給水できるウォータースタンドを設置した。	使い捨てプラボトルの削減。CO2排出の抑制。ステークホルダーとのパートナーシップの拡大など。	12. つくる責任 つかう責任
							14. 海の豊かさを守ろう
17	有限会社Q	製造業	食料品製造業	日本の食料自給率が低く、輸入品に頼っている状態危惧し、「フードロス」をなくしたい、もったいな」の思いがあった。	県内の養豚場の協力のもと、廃棄されてしまうわかめを家畜の飼料として活用するプロジェクトを開始した。生わかめの端材を粉碎機で粉々にしたものを配合して作った「特別な飼料」を家畜に与えることで、従来与えていた飼料より効果があるなどの検証を進めている。	世界中で海藻を捕食するようになれば、海藻類であるわかめや昆布の養殖が進み、食糧危機から脱却するだけでなく、CO2の吸収を19%も向上させる。「未来食」としてわかめが持つ可能性は今後さらに広がっていく。	2. 飢餓をゼロ
							12. つくる責任 つかう責任
18	株式会社R	製造業	食料品製造業	和菓子を製造する過程で発生する食品廃棄物の量は毎月22トンにも及び、その大量の食品廃棄物を排出している生産工程を改善したいと考えた。	食品廃棄物問題は現場の声を汲み取って、社員全体の意見を活かし、社員が一丸となって経営改善に取り組むようになり、全社員の意識が大きく向上することに結びついている。工場設備のレイアウト変更、人員配置の見直しを行い、効率的な作業体制を実現。職場環境が改善し風通しの良い、働きやすい職場となった。	市内学校の茶道教室に日本文化の保護、継承に通じるSDGsの目標4「質の高い教育をみんなに」への貢献。	2. 飢餓をゼロ
							4. 質の高い教育をみんなに

	企業名	業種・大分類	業種・中分類	経緯（ゴールと自社の活動の関係）	取り組み内容	結果	設定ゴール
19	S製造株式会社	製造業	食料品製造業	廃棄ロスが発生してしまうという問題を解決したいと考えていた。	若手農家、生産者とタッグを組んで商品開発を行い、廃棄ロスを防ぎつつ地産地消にも貢献している。同社の新たなブランドデザインを検討する際にも、単なるデザインの刷新にとどまらず、紙製の包装パッケージへ転換する準を進めている。創業以来原点として重視している「魚と真摯に向き合う姿勢」の考えから、原料となる水産資源や人体への影響が懸念されるマイクロプラスチックを問題視しているためである。	廃棄ロス数量の可視化や発生原因の追究・改善、生産管理の仕組みの強化などを行い、「つくりすぎのムダ」の削減に取り組んだ。社員全員参加で取り組んだ結果、生産管理に対する社員の意識が高まり、過剰生産の抑制が実現。大口取引先から工場の管理レベルが認められ、取引の増大にもつながった。	14. 海の豊かさを守ろう
20	株式会社T	製造業	その他製造業	市内のNPO法人からシングルマザーの貧困問題について話を聞いたことがきっかけである。独り親世帯の場合、子供が病気により欠勤を余儀なくされ非正規雇用を選択せざるを得ず、十分な収入が得られない。「女性が安心して社会で活躍できるように」との思いで、病児保育付きの保育園を設立するに至る。	電力消費の大きかった印刷乾燥用のUVランプをLED化。社用のをハイブリッド化、消費電力の削減への取り組み、保育園を開設。	本社事業所から排出されるCO2排出量が実質ゼロとなるカーボンゼロを達成する。	5. ジェンダー平等を実現しよう 7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに